九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[013] COE Lecture Note Series Vol.13（プロシーディング「損保数理に現れる確率モデル」）

https://hdl.handle.net/2324/13268

出版情報：COE Lecture Note. 13, 2009-02-06. Faculty of Mathematics, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

はじめに　– 日新火災 –

弊社は，2008 年度が創立 100 周年にあたることから，その記念事業の一環として，かねてより準備を進めてきた九州大学大学院数理学研究院との共同研究をこの５月からスタートさせています．この共同研究は，現在保険業界において 2011 年を目途に準備作業が進められている国際会計基準や新ソルベンシー・マージンの導入に対応していくために，資産・負債データの整備と合わせて数理技術の向上と数理モデルの開発・構築等の実現を目的としています．共同研究は，当面 2 年間を予定していますが，去る 11 月 28 日に弊社東京本社において共同研究スタートから半年間の成果について「中間発表会」を開催いたしました．この「中間発表会」はこれまでの研究成果を東京海上グループ内の数理担当者に公表して，意見や助言をいただき今後の研究に生かしていくことを主眼に実施したものです．おかげさまで，大所高所からのご意見や貴重なご助言をいただくなど，初めての試みとしては成功裡に終了することができました．

ご既承のように，平成 20 年度に九州大学大学院数理学研究院が文部科学省のグローバル COE プログラム「マス・フォア・インダストリー教育研究拠点」に採択されました．今般，同研究院の若山研究院長，谷口副研究院長のご厚意により，「マス・フォア・インダストリー」の小冊子に今般の「中間発表会」の研究成果を掲載・刊行いただくこととなりました．この場を借りて，厚くお礼を申し上げます．また，これらの研究成果は，まさに数学と保険業界との協働事業の好事例ではないかと自負しているところでもあります．

今後とも，本共同研究を更に進めて，リスク管理の一層の高度化，財務状況の透明化・明確化の向上をはかり，保険業界の発展に貢献していく所存です．

本誌掲載の研究成果につきましては，内容に目を通していただき，各方面からのご指摘ご鞭撻をいただきますよう，よろしくお願い申し上げます．

日新火災海上保険株式会社
リスク管理部長

杉山　元泰